

公立大学法人福岡県立大学

I 全体評価

1 総評

公立大学法人福岡県立大学は、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、人間社会学部と看護学部の連携のもと、関連する分野に関する幅広い視野を持ち、保健・医療・福祉の現場で中核となって活躍できる資質をもった優秀な職業人を育成することを最も重要な使命としている。

法人化4年目である平成21年度の評価にあたっては、前年度の評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目7項目中1項目（社会貢献）について、「特筆すべき進捗状況にある」と評定、他の6項目（教育、研究、業務運営、財務、評価、情報公開）について「順調に進んでいる」と評定した。

以上のことを踏まえ、公立大学法人福岡県立大学の平成21年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としては順調に進捗していると認められる。

平成18年度に法人化し5年目を迎え、中期目標期間6年間の仕上げの期間に入っている。これまでの業務実績の分析・評価結果を踏まえ、今後の中期目標の着実な達成に努められたい。

福岡県立大学は、設立当初から地域振興の役割も担っており、地域と連携した取組で着実な成果をあげてきている。社会貢献に関しては、平成21年度の業務実績においても計画を上回る取組等が多数認められたところであり、特筆に値する。

今後とも地域との連携のもと社会貢献活動等に積極的に取り組むとともに、県立の大学としての役割を踏まえ、教育・研究をはじめとした業務の充実・改善に向けた取組を更に推進されることを期待する。

2 業務の実施状況

教育、研究、社会貢献に関する業務の実施状況については、順調に進捗している。

教育について、「看護系大学から発信するケアリング・アイランド九州沖縄構想」が、文部科学省の平成21年度「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」に選定されており、教育内容の充実に積極的に取り組んでいる。

社会貢献については、大学の知的資源を活用した各種の健康教室や資格・免許保持者へのリカレント教育、不登校・ひきこもりサポートセンターにおける相談事業等に積極的に取り組んでおり、地域に貢献する大学としての認知度の向上に繋がっていることを高く評価する。

福岡県立大学の特色となる人間社会学部と看護学部の連携についても、教育プログラムの充実を図り、受講者が大幅に増加するなど、着実な進捗が認められるところで

あり、今後の一層の発展に期待する。

3 財務状況

財務の状況については、自己収入の増加、経費の節減の双方の取組において、順調に進捗している。

財務運営にあたっては、今後ともより一層の経営努力に努めるとともに、適切な予算管理と戦略的・効果的な予算配分を推進されたい。

4 法人のマネジメント

業務運営、評価、情報公開といった法人のマネジメントの状況については、順調に進捗している。

今後とも、事務局機能の強化に努めるとともに、運営体制の改善、PDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルの確立、情報公開の推進に一層取り組まれることを期待する。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、進捗が遅れている項目も認められるが、年度計画を上回って実施している項目が多数あり、中期計画外の取組である「看護系大学から発信するケアリング・アイランド九州沖縄構想」の取組を評価し、総合的に判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

（1）教養教育の充実

- ・専門的職業人育成のための新コース「不況に負けない就活入門」の開設等、教養教育の充実に取り組んでいる。
- ・教養演習テキストについて、学生による編集委員会を設置し、学生の意見を取り入れた「レポートの書き方入門'10」を出版するなど、教養演習の工夫・改善に努めている。

（2）専門教育の充実

- ・看護学部において、大学の独自性を出すためのカリキュラムの見直しなど、積極的に取り組んでいる。
- ・看護学部において、経験型実習教育導入の領域の拡大、教員と実習先指導者の連携強化等、実習教育の充実に積極的に取り組んでいる。
- ・両学部の学生が連携の必要性を一緒に学習する教育プログラムを時間割に位置付け

ることができ、受講者が増加している。

- ・人間社会学研究科修士課程の受験倍率が目標を下回っており、受験生確保に向けたより一層の取組が必要である。
- ・「看護系大学から発信するケアリング・アイランド九州沖縄構想」が、文部科学省の平成21年度「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」に選定されており、教育内容の充実に積極的に取り組んでいる。

(3) 教員の教育能力の向上

- ・両学部が一体となったFD活動(※)強化への積極的な取組が認められるところであるが、FD研修会等への教員参加率が目標を大幅に下回っており、参加率向上のための工夫が必要である。

※FD(ファカルティ・ディベロップメント)

教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称。

(4) 学生の確保

- ・オープンキャンパス、入試説明会、高校訪問等、入試広報活動の取組は認められるところであるが、人間社会学部の志願者数が減少しており、質の高い学生の確保に向けた対策を期待する。

(5) 成績評価

- ・看護師の国家試験合格率100%を達成しており、取組の成果として評価する。

(6) 学生への支援

- ・キャリアサポートセンターへのスタッフ配置日数の増加、学生へのメール配信による利用促進等、就職支援体制の強化に努めている。

2 研究

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・新規研究プロジェクト「「学びの共同体」創りをめざした英語教育の実践的研究」をはじめ、附属研究所において、生涯福祉研究センター(人間社会学部)、ヘルスプロモーション実践研究センター(看護学部)の独自の研究プロジェクトや両学部連携による共同研究プロジェクトに積極的に取り組み、数値目標を上回る実績をあげている。

3 社会貢献

評価	5 : 中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
----	-----------------------------------

平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施するとともに、目標を大幅に上回る取組や中期計画に掲げる事項以外にも社会貢献に関する積極的な取組が多く認められたことから、特筆すべき進捗状況にあると判断し、5と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・大学の知的資源を活用し、地域住民の健康の向上のための各種健康教育事業や資格・免許保持者等に対する講習会、シンポジウム等に積極的に取り組んでいることを評価する。
- ・不登校・ひきこもりサポートセンターにおいて、相談事業、学生による県大子どもサポーターの派遣事業及びキャンパス・スクールの受入等、活発な活動が行われていることを高く評価する。
- ・英語版ウェブサイトの充実に加えて中国語版ウェブサイトを開設したことを評価する。
- ・アジアの大学との学術交流に取り組み、新たに2つの大学と交流協定書、覚書を締結したこと、また、交換留学生の受入数が増加していることを評価する。
- ・教員免許更新制の導入に伴い、免許状更新講習を開講している。
- ・社会貢献・ボランティア支援センターを新設し、大学、学生及び地域が連携した社会貢献活動の支援を行っている。

4 業務運営

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・実習事故の防止や感染症予防対策、学生の健康管理の強化等、安全管理体制の充実に努めている。

5 財務

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成している

ことから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・ 学生納付金の過年度分未納額について、未納者全員と債務弁済契約を締結している。
- ・ リカレント教育やキャリアアップ教育等の講習会料金収入が、数値目標を上回る実績をあげている。
- ・ 外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、数値目標を大幅に上回る収入実績をあげていることを高く評価する。
- ・ 時間外勤務縮減の取組や、退職教員（教授）の後任を講師等で補充するなど、人件費抑制に努めた結果、数値目標を上回る実績をあげている。

6 評価

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・ 自己点検・評価及び個人業績評価の実施と改善に努めている。
- ・ 平成22年度に受審する認証評価の準備を進めている。

7 情報公開

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・ ホームページの全面的改訂など、情報公開の推進に努めている。